



矢口駿太郎 やぐちしゅんたろう 松本秀峰中等教育学校2年・松本市

## 世界の選手応援したい

今夏開催されたオリンピックについて取材した。ヤンキースタジアムでスタッフの男性に「どの競技に注目しているか」と尋ねると、彼は渋い表情で「サッカー」と答えた。そして「オリンピックは好きではない」と加えた。「他国ばかりがメダルを取って面白くない」からだと言う。「好きではない」と言う人がいて、驚いた。

日本の選手を知っている人を見つけるのは大変だった。メトロポリタン美術館で会ったメアリーさん(68)は日本に留学経験があり、テニスの錦

織圭選手を知っていた。そして「あなたはアメリカの選手を知っているか」と聞かれた。意外な質問に、私は「知らない」と答えるしかなかった。メアリーさんも私の様子に戸惑っているようだった。

「平和の祭典」という精神を尊重すれば、オリンピックは世界中の人々が全ての国の選手を応援するものだろう。だが実際は、日本では日本選手の応援ばかりしていたと思う。取材を通じ、平和の祭典だということを頭に入れて、世界中のアスリートを応援したいと思った。